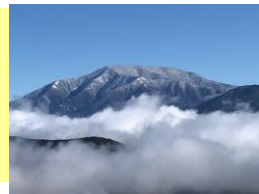
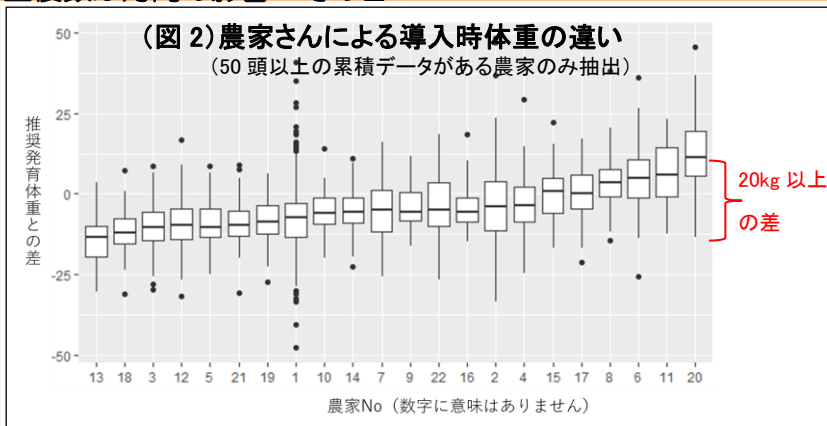
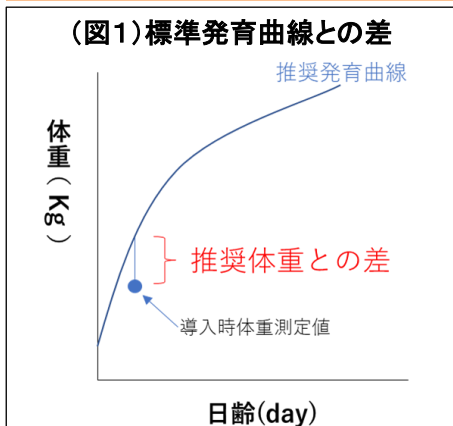




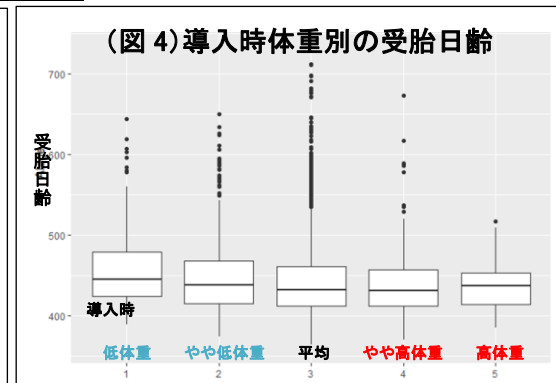
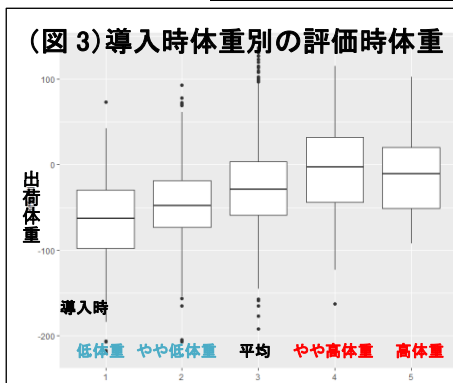
あけましておめでとうございます。日々寒さが身に染みるようになり、恵那山もすっかり雪化粧をしています。昨年も大変お世話になりましたが、今年もよろしくお祈りいたします。



生後数か月間の影響 その2



前号では導入時の体重差によって、その後の死亡率に大きな差があるということを紹介しました。導入時体重と推奨体重との差(図1)を農家さん毎に示しました(箱ひげ図:真ん中の黒い横線が中央値、長方形とそこから出ているヒゲと点は体重のばらつきを示します)。これをみると農家さんによっては導入時に 20 kg以上の”発育の差” があります。過去導入体重の平均は 72kg



程度なのでこの値がいかに大きな差であるか分かります。また、導入時体重*によって5グループに分けたところ、評価時の体重*も導入体重が高いほど高くなることが分

かりました(図3*標準発育曲線との差)。さらにAI開始が遅れるせいか、受胎日齢も低体重グループで遅くなっていました(図4)。これらが遺伝的な影響か、栄養上の影響かは断定できませんが、無視できない環境要因(栄養、発育環境等)も反映していると考えられます。大きく負けない体を作るには、強化哺育等により、しっかりとしたフレームの牛を作ることが重要です。東濃牧場ではこのような発育データの蓄積がありますので、**ご自身の農場の傾向を知りたい方は、お気軽にご連絡ください。**

初妊牛譲渡の予定について

初妊牛の譲渡予定

譲渡月	2022年1月	2022年2月	2022年3月	2022年4月	2022年5月
譲渡予定頭数	36頭	45頭	29頭	42頭	47頭

上牧希望の牛がいる場合は、なるべく早くご連絡をお願いします。

(子牛の上牧については、出生報告書を牧場FAX 0573-56-2146 にご連絡下さい。)